

日本政府観光局(JNTO) MICE 誘致アンバサダーに認定されました(2017/3/8)

テーマ：災害シミュレーション／計算科学／計算力学／計算工学／CAE／ものづくり

場所：日本政府観光局

URL：http://mice.jnto.go.jp/mice_amb/index.html

<http://mice.jnto.go.jp/cms/content/files/news/20170308-024247.pdf>

日本政府観光局（JNTO）の主導する MICE 誘致アンバサダープログラムは、日本の国際会議開催件数増加や日本国内における国際会議開催の意義に対する理解度の向上、並びに海外における日本のプレゼンス向上を目的として 25 年に発足しました。国内外に強い影響力をもつ研究者を「MICE 誘致アンバサダー」として認定し、日本国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動に加え、会議開催地としての日本の魅力を海外に向けて発信する広報活動に寄与しており、現在までに 47 名が認定されています。そのうちの 1 名に当研究所の寺田賢二郎 教授（地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）が、2022 年にアジア・オーストラリア地区で開催予定の第 15 回世界計算力学会議（WCCM-XV）の日本誘致に関連して認定されました（2017 年 3 月 8 日）。

◆MICE 誘致アンバサダー認定者(平成 28 年度下期)

(五十音順、敬称略)



芦田 均 (あしだ ひとし)

神戸大学大学院農学研究科 教授

食品科学・栄養科学分野において日本でトップレベルの研究者であるだけでなく、海外でも知名度は高い。日本フードファクター学会理事長、日本栄養・食糧学会業務執行理事、日本ポリフェノール学会理事、英国王立化学会のフェロー。2016 年日本栄養・食糧学会賞受賞。



伊藤 孝行 (いとう たかゆき)

名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻 教授

人工知能の分野で権威のある国際自律エージェントとマルチエージェントシステム財団 (IFAAMAS) の元理事、国際会議 PRICAI 及び PRIMA の運営委員、人工知能学会の理事を務める。2020 年開催の人工知能国際会議誘致に成功され、その他多数の国際会議を誘致中。人工知能学会業績賞など受賞。



大澤 眞木子 (おおさわ まきこ)

東京女子医科大学 名誉教授

日本小児神経学会の元理事長。現在は日本でんかん学会の理事長を務め、同分野で多くの国際会議に携わっている。一般社団法人筋ジストロフィー協会理事、Infantile seizure society 世話人代表、国際抗てんかん連盟 (ILAE) Pediatric Commission 委員。日本女医会吉岡弥生賞、Gaetano Conte Clinical Prize (from Gaetano Conte Academy) など受賞。



椎島 健治 (かばしま けんじ)

京都大学大学院医学研究科 皮膚科学教室 教授

日本皮膚科学会、日本炎症・再生医学会、日本研究皮膚科学会の理事、日本免疫学会などの学会において評議員を務める。International Society of Investigative Dermatology 理事ほか多数の国際学会に所属している。第 11 回 日本学術振興会賞など受賞。



寺田 賢二郎 (てらだ けんじろう)

東北大学 災害科学国際研究所 教授

一般社団法人 日本計算工学会会長、特定非営利活動法人 非線形 CAE 協会理事長。長年にわたり計算工学研究分野において国内外で研究活動をつづけ、国際的なリーダーの一人。国際学会、IACM (International Association for Computational Mechanics) の Vice-President (Asia-Australia) を務めている。The IACM Fellows Award、日本計算工学会川井メダル受賞。



原 晃 (はら あきら)

筑波大学 医学医療系 系長

日本聴覚医学会の理事長及び日本耳鼻咽喉科学会の理事を務める。筑波大学では、教員 474 名を抱える医学医療系の系長として、組織の円滑な運営と研究活動推進の役割を担っている。国際学会にも所属され、国際会議誘致に積極的に取り組んでいる。



廣瀬 伸一 (ひろせ しんいち)

福岡大学医学部小児科 主任教授、福岡大学病院 小児科 診療部長

日本小児科学会 (国際渉外委員会担当理事)、日本でんかん学会評議員・理事 (国際担当委員会委員)、日本小児神経学会評議員 (前国際渉外委員会委員長) を務める。2016 年国際小児科学会 (IPA) 執行理事に選出。2017 年日本開催の第 14 回アジア大洋州小児神経学会 (AOCCN2017) では Congress President に就任。川野小児医学賞など受賞。



松田 和洋 (まつだ かずひろ)

エムバイオテック株式会社 代表取締役、マイコプラズマ感染症研究センター長

日本マイコプラズマ学会第 44 回学術集會会長として、マイコプラズマ感染症分野において国内の研究者の先頭に立って活動。国際学会でも多くの招待講演を行い、国際マイコプラズマ学会においては委員を務めるなど、国際的にも活躍している。日本マイコプラズマ学会第 17 回北本賞受賞。

文責：寺田賢二郎（地域・都市再生研究部門）